

第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画 3年間の振り返り（取組ごと）

4	よい本をたくさんおこ・ほいく園・ようち園	■ 図書コーナーをつくれます ■ 市立図書館から本をたくさんかります(団体かしだし) ■ 本のいれかえをします ■ おうちで読めるように本を かします ■ 近くに すんでいる 子どもたちにも 本を かします
【取組課かい】保育課		
【自己評価】		
●図書係を置き活動することで意識的に取り組むことができました。本を借りに来る家庭もあり、選んだり親子の関わりがあり良い場となっているが減少傾向にある。		
【課題】		
●職員の業務が多く手が回らない現状がある。係のメンバーの意識に左右されてしまうことや、家庭や地域へ向けての発信の仕方が課題。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●送迎時に借りたくなるような場所の設定や発信方法を検討していきたい。		

5	本を読みたくるようにしよう	■ 子どもが本を読みたく なるように本を ならべます ■ まいにち 読み聞かせを します ■ 子どものせいちょうにあわせた読み聞かせをします ■ おうちの人やボランティアといっしょにおはなし会をします ■ 近くに すんでいる 子どもたちにも おはなし会を します
【取組課かい】保育課		
【自己評価】		
●各クラスに絵本があり自由に手に取れる環境ができてきている。読み聞かせも担当が子どもの興味関心に併せて選んでいる姿がある。		
【課題】		
●絵本の入れ替えがなかなか行えなかったり、本の修繕や選定ができずにいる状況もあった。地域向け事業と連携していけるといい。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●地域担当と連携してお話会の開催などを積極的に行っていきたい。		

6	先生が読書のことを学ぼう	■ 本や読書の ことを 学ぶ 集まりに 行きます ■ 子どもの せいちょうに 合わせた 本の えらびかたを 学びます ■ 子どもの せいちょうに 合わせた 読み聞かせの やりかたを 学びます ■ ほかの 先生の 読み聞かせを 見学します ■ 先生 どうして 本や 読書の ことを 話し合います
【取組課かい】保育課		
【自己評価】		
●いろいろな職員がクラスに入ることそれぞれの読み聞かせのスタイルを知ることができた。		
【課題】		
●保育士のスキルアップとしての研修や話し合い、振り返りはなかなかできなかった。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●職員間だけでもスキルアップを目指した取り組みを園内研修などで行ってきたい。		

7	本を知ってもらおう	■ 部屋や ろうか におすすめ本の しょうかいを はります
		■ おたよりで おすすめ本を お知らせします
		■ おすすめ本の リストを おうちの人に わたします
		■ おうちの人から 聞かれた 本や 読み聞かせの ことに 答えます
【取組課かい】保育課		
【自己評価】		
●みんな見えるところに絵本の紹介を設置したことで手にとることが増えた。		
【課題】		
●園内だけでなく家庭につなげたり、本を見ることのない家庭へのアプローチ、スマホやタブレットから絵本にどうしたら移行できるかどうか課題。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●絵本を見ることの良さを分かりやすく知らせたり、家庭に取り込めるような発信をしていけたらと思う。		

8	おもしろい本・学習の役に立つ本をたくさんおこう・学校・学校図書館	■ よい本を たくさん おきます
		■ 本を えらぶ時は、人気や 数の 多さだけを 考えないようにします
		■ 先生や 学校図書館ではたらく人、ボランティアが いっしょに 本を えらびます
		■ じゅぎょうや 学習の 役に立つ本を おきます
		■ じょうほうが 古い 本を いれかえます
		■ 13～18才向けの 本も たくさん おきます(ヤングアダルト図書)
		■ 市立図書館から 本を たくさん かります(団体かしだし)
		■ 自由に 読める 本を 教室に おきます(学級文庫)
【取組課かい】教育総務課、学校教育指導課		
【自己評価】		
● 良い本が置けるよう以下のペースで書籍購入対応した。(教育総務課) ・5月末頃:課題推薦図書購入 ・6月:前期分購入 ・11月:後期分購入 ・2月末頃:追加分購入		
● 各教科の学習内容と連動した本や図鑑を近くに並べ、児童生徒が選びやすく学習の役に立ちやすい環境を整えた。(学校教育指導課)		
【課題】		
● 学校司書より、 <u>新着本の装備に費やす時間の負担が大きいとの見解あり</u> 。(教育総務課) ● 学校司書との情報共有。(学校教育指導課)		
【次期計画期間で取り組むこと】		
● 年4回の <u>購入回数を増やす事が可能か検討</u> していく。(教育総務課) ● <u>学校司書に授業の進行や単元(学習内容)を事前に情報共有するなど、各教科の学習とつながりのある本を置いたり、紹介したり、関連のある図鑑や本を近くに並べたりして、学習の役に立ちやすく、選びやすい環境を整える</u> 。インターネットの断片的な情報だけでなく、「信頼性のある多様なメディアを多角的に比較・吟味する力」の育成を目指す。(学校教育指導課)		

9	子どもや先生が使いやすい学校図書館にしよう	■ 子どもが 入りやすい 学校図書館にします
		■ 子どもが 入りやすい 時間に 学校図書館を 開けます
		■ 本を 探しやすいようにします
		■ インターネットで 学校図書館や 市立図書館の 本を 探せるようにします
【取組課かい】教育総務課、学校教育指導課		
【自己評価】		
●図書館が正常に機能するよう、各校に学校司書の欠員が出ないよう、採用と配置をすることができた。(教育総務課)		
●図書のポスターや本のポップを作ったり、読み聞かせのイベントを開催したりするなど、たくさんの人に図書館に来てもらえるようにした。(学校教育指導課)		
【課題】		
●新規採用予定者が直前で辞退したことがあり、急遽短期登録者を面接し採用する運びとなった。(教育総務課)		
● <u>学校ごとの取り組み</u> に差がある。(学校教育指導課)		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●採用時に、辞退されるような人員の選考は行わぬよう、面接や選考には細心の注意を払い、複数人審査にて選考する。(教育総務課)		
● <u>図書委員</u> や <u>学校司書</u> が協力して行った <u>取組</u> を情報共有し、たくさんの人に図書館に来てもらえるよう継続して取り組む。(学校教育指導課)		

10	子どもが本を読みたくなくなるようなくふうをしよう	■ 子どもが本を読みたくなくなるように 本を ならべます ■ おたよりで おすすめ本を お知らせします ■ おすすめ本の リストを 子どもや おうちの人に わたします ■ 図書委員会で 学校図書館や 読書の ことにとりくみます
【取組課かい】教育総務課、学校教育指導課		
【自己評価】		
●毎年4月に、図書館にもお力添えいただき、司書研修を実施している。そこで選書のポイントなどを伝えることができた。(教育総務課) ●本の紹介や、配架の工夫したり、読み聞かせのイベントを開催したりした。(学校教育指導課)		
【課題】		
●その時々状況に応じた研修が必要であり、図書館との連携が必要。(教育総務課) ●特になし(学校教育指導課)		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●継続して、司書研修は実施していく。また図書館と調整し、研修内容は検討していく。(教育総務課) ●人気の本や新しく入った本を目立つところに並べたり、ポップやポスターで季節や話題に合わせた本を紹介したり、多種多様な本を手にとってもらえるよう工夫する。図書委員会で本の紹介のポップを作ったり、本の並べ方を工夫したり、読み聞かせのイベントを開催したりするなど、本に興味を持ち、読書が好きになってもらえるよう継続して取り組む。(学校教育指導課)		

11	先生や学校図書館ではたらく人が図書館や読書のことを学ぼう	■ 図書館や読書のことを学ぶ集まりに行きます
		■ 本をえらぶために必要なイベントに行きます
		■ 読み聞かせ・おはなし(ストーリーテリング)・本のしょうかい(ブックトーク)のやりかたを学びます
		■ 学校図書館、市立図書館を使うじゅぎょうのやりかたを学びます
		■ タブレットやインターネットを使うじゅぎょうのやりかたを学びます
		■ 先生や学校図書館ではたらく人どうして本や読書のことを話し合います
【取組課かい】教育総務課、学校教育指導課		
【自己評価】		
●毎年4月に、図書館にもお力添えいただき、司書研修を実施している。そこで選書の講義や、グループワークを通じた司書間での情報交換ができた。(教育総務課)		
●学校司書や読書活動指導協力者が集まる連絡会等で勉強したり、話し合ったりした。(学校教育指導課)		
【課題】		
●その時々状況に応じた研修が必要であり、図書館との連携が必要。(教育総務課)		
●学校司書や読書活動指導協力者と教職員の情報共有。(学校教育指導課)		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●継続して、司書研修は実施していく。また図書館と調整し、研修内容は検討していく。(教育総務課)		
●学校司書や読書活動指導協力者が集まって本のことについて勉強したり、話し合ったりするだけでなく、 <u>得られた知識や、他校の優れた実践事例、新刊図書情報を各学校で共有</u> する。(学校教育指導課)		

12	学校のじゅぎょうで図書館や読書のことを教えよう	- 先生と学校図書館ではたらく人とボランティアが いっしょにとりくみます - じゅぎょうが 始まる前や 休み時間に、読書を します - 読み聞かせを します - おはなしを 語ります(ストーリーテリング) - 本の しょうかいを します(ブックトーク) - じゅぎょうで 学校図書館の 使いかたを 教えます - インターネットを 使って 図書館の 本の さがしかたを 教えます - じゅぎょうで 市立図書館を 見学します - 調べ学習で 学校図書館や 市立図書館を 使います - おうちの人や 子どもたちから 聞かれた 本や 読み聞かせの ことに 答えます
----	-------------------------	---

【取組課かい】教育総務課、学校教育指導課

【自己評価】

- 図書館が正常に機能するよう、各校に学校司書の欠員が出ないよう、採用と配置をすることができた。(教育総務課)
- 本の並べ方や学校図書館の使い方を教える機会を作り、授業で勉強したことや興味を持ったことを学校図書館の本で調べて知識を深める取組を行った。(学校教育指導課)

【課題】

- 新規採用予定者が直前で辞退したことがあり、急遽短期登録者を面接し採用する運びとなった。(教育総務課)
- なし(学校教育指導課)

【次期計画期間で取り組むこと】

- 採用時に、辞退されるような人員の選考は行わぬよう、面接や選考には細心の注意を払い、複数人審査にて選考する。(教育総務課)
- タブレット等の端末でのインターネット検索だけでなく、学校図書館の書籍をはじめとする「信頼できる多様なメディアを活用して、多角的に調べ、吟味する力」の育成を進める。デジタルを活用した使い方や検索方法だけでなく、本の並べ方、学校図書館の使い方を教える機会を作り、授業で勉強したことや興味を持ったことを学校図書館の本で調べて知識を深める取組を継続する。(学校教育指導課)

13	ほかの学校や学校図書館市立図書館といっしょに読書のことをとりくもう	- 学校どうして 読書の ことを 話します - 読書感想文・読書感想画コンクールを ひらきます - 市立図書館の 読書週間ポスターてんに 作品を 出します
----	-----------------------------------	---

【取組課かい】教育総務課、学校教育指導課

【自己評価】

- 毎年4月に、図書館にもお力添えいただき、司書研修を実施している。そこで各校の情報交換をすることができた。(教育総務課)
- 学校司書や読書活動指導協力者が集まり勉強会や連絡会をしたり、本や読み聞かせについて情報共有、意見交換したりした。学校でお手紙を配るなどして、市立図書館の読書週間ポスター展のことを伝えた。(学校教育指導課)

【課題】

- 学校司書が一堂に会する機会が少ないこと。(教育総務課)
- 特になし(学校教育指導課)

【次期計画期間で取り組むこと】

- 司書間で情報共有ができるような取組を検討していく。(教育総務課)
- 学校司書や読書活動指導協力者が集まる勉強会や連絡会を通じて、読書活動のノウハウや成功事例を話し合い、他校の好事例を自校に取り入れやすくする。学校で、市立図書館の読書週間ポスター展等の周知を継続する。(学校教育指導課)

14	えほんとふれあうたいけんをすべての赤ちゃんにとどけようブックスタート	- 赤ちゃんとおうちの人に「えほん」と「えほんを楽しむ体験」をプレゼントします - ほけん所でわたせなかった赤ちゃんには、1才6か月まで市立図書館でプレゼントします - 赤ちゃんが7か月になった時に、ほけん所(すくすく7か月児育児相談)でプレゼントします
----	------------------------------------	---

【取組課かい】子ども育成相談課、図書館

【自己評価】

- 保護者の方がこどもの興味関心に合わせて絵本を選ぶことで、こどもが絵本に興味を持つきっかけづくりになっている。(子ども育成相談課)
- 読書習慣のきっかけづくり、絵本を通じた親子の触れ合いの機会の提供、地域の関りによる保護者の孤独感の解消の一助になっている。インスタ等のSNSの活用による周知の強化、受付方法やブックスタートバック配布場所の拡大に努めた。(図書館)
- ボランティアの確保のための講習会を実施。また、新規ボランティアへの細やかなフォローを実施。(図書館)

【課題】

- 7か月育児相談の参加率が50%であるため、半数の対象者がブックスタートを知らない可能性がある。(子ども育成相談課)
- ブックスタートバックの提供率が60%ほどに留まり、周知が進まない。(図書館)

【次期計画期間で取り組むこと】

- 7か月育児相談事業におけるブックスタートの周知及び、事業を利用しない保護者にも図書館等で実施されているブックスタートの周知を行う。(子ども育成相談課)
- 多様な媒体の活用や多機関との連携を通して、情報を受け取る機会を拡大していく。(図書館)

15	おもしろい本学習の役に立つ本をたくさんおこう・市立図書館	■ 子どものせいちょうに合わせた本をたくさんおきます ■ おはなしの本だけでなく、調べるための本もたくさんおきます ■ 新しいじょうほうがのっている本をたくさんおきます ■ 子どもの知りたいきもちにあわせて、いろいろな本をおきます ■ 子どもの読書のことがわかる本をたくさんおきます ■ 13～18才向けの本もたくさんおきます（ヤングアダルト図書）
【取組課かい】図書館		
【自己評価】		
●新聞や専門誌の書評や、子どもの読書活動に関わる人の意見等を参考にしながら、分野に偏ることなく幅広い選書に努めた。館内アンケートでは「子どもの本の充実」に対して「不満・やや不満」と答えた方は全体の4%であり、利用者のニーズに一定程度応えられている。		
【課題】		
●毎年、本の価格が高騰し続けており、購入数に限りがある。 ●書架の収容能力が限界に近づいており、本が隙間なく並んで取り出しにくい箇所や、横置きで保管せざるを得ない箇所が生じている。このような状況は、利用者の利便性の低下だけでなく、資料の劣化や破損にもつながるおそれがある。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●本の状態や利用実績を踏まえた蔵書の整理(除籍)を計画的に実施するとともに、書架配置の改善を進め、適切な収蔵スペースを確保する。あわせて、新規購入については、資料の必要性や利用価値を十分に検討し、限られた予算と書架スペースを最大限に活用できる蔵書構成を目指していく。		

16	おはなし会やイベントをひらこう	■ 赤ちゃんむけのおはなし会をひらきます（おひざにだっこ） ■ 小さい子むけのおはなし会をひらきます ■ 小学生むけのおはなし会をひらきます ■ 市立図書館、かがわ分館、ハマミーナ図書室で おはなし会をひらきます ■ 本を読みたくなるようなイベントをひらきます
【取組課かい】図書館		
【自己評価】		
●対象年齢別に定期的におはなし会を実施したほか、夏休み等の子どもたちが図書館に集まりやすい時期には回数を増やして対応した。読み聞かせボランティアの意欲も高く、おはなし会を目的に来館する子どももあり、安定的に実施できている。		
【課題】		
●図書館本館やハマミーナ図書室以外の図書室、または図書室以外の場所においても、おはなしの楽しさを伝える機会を設けたいと思うものの、集団への読み聞かせには一定のスキルが必要なこと、他の業務との兼ね合いもあり、一部のイベントを除き、実施には至っていない。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●単発的に図書館職員派遣による他所でのおはなし会を実施しつつ、<u>長期的な視点で多機関による読み聞かせの活性化に向けた支援を行う。</u>		

17	子どもたちみんなが使いやすい図書館にしよう	■ 子どもの本に かわいいしよくいんを そだてます ■ 子どもが本を手にとりやすいくふうをします ■ おすすめの本を てんじます ■ 「赤ちゃんむけの本」コーナーを作ります ■ 「はじめてのものがたり」コーナーを作ります ■ 「子どもようのざっし」コーナーを作ります ■ おうちから 近い図書室で本を かします ■ 日本語や字が読めない子どもも楽しめる本をおきます
【取組課かい】図書館		
【自己評価】		
●令和6年度から「はじめてのものがたり」にPOPを設置し手にとってもらいやすいようにした。職業体験にきた中学生にもPOPを書いてもらった。また、施策以外の取組として、「よみきかせおすすめ絵本」コーナーも作り、子どもや保護者と絵本の出会いを積極的に創出した。 ●点字本や大活字本は出れば積極的に購入している。外国語の絵本も結構買っている。 ●職員がブックトーク勉強会に参加しブックトークを学んだ。		
【課題】		
●点字本や外国語で書かれた絵本の蔵書の充実。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●継続して、絵本を手にとってもらう工夫に取り組む。 ●継続して、点字本等の購入を行い、蔵書の充実に取り組む。		

18	ほいく園や学校に本をかそう	■ ほいく園・ようち園・こども園に本をかします ■ 学校に本をかします ■ おはなし会の ボランティアに 本をかします ■ ほいく園やじどうクラブ（がくどう）に 3か月に 1回、たくさん 本をかします
【取組課かい】図書館		
【自己評価】		
●保育園、幼稚園、こども園、学校、児童クラブ等が団体貸出できるようにし、また、希望する保育園、児童クラブには定期的に本の配送を行った。子どもたちにとって読める本が増えるだけでなく、学習のテーマ等、その時に必要な本を揃えることができるため配送先からは喜ばれている。 ●保育園へ配送する本の選書は図書館で行っており、四季を意識することで、子どもたちの感性が豊かになるよう支援した。また、児童クラブは各クラブが直接選書をしているが、おすすめ本コーナーを設置するなど、選書環境の整備に努めた。 ● ●小学校の読書活動（ブックトーク等）で使う本の貸出も行うようにした。		
【課題】		
●学校からも配送の要望があるが、図書館の体制的に対応が難しい。また、この先、保育園や児童クラブの増設により配送希望が拡大することが予想される。 ●配送時や選書時に保育園等の担当者で可能な限り子ども読書等に関するやりとりを行うよう努めた。とくに、保育園への貸出は、図書館が現場に出向くスタイルでありながら、保育園側が多忙であること、館側の配送ルート上から、現場の声を吸い上げるといった貴重な機会を生かしきれてい。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●配送希望のある保育園等のニーズを踏まえながら、継続的に実施可能な方法を検討する。 ●保育園等の現場から子どもたちが興味をもっているテーマ等の吸い上げを行える仕組みを検討し、おすすめ本となる図書館からの配送本や書架を子どもたちにとってさらに魅力あるものとし、読書活動の質的・量的向上を図っていく。		

19	読書や本のことをみんなに知らせよう	■ ホームページやツイッターで本や読書のことを知らせます ■ 子どものせいでに合わせたおすすめ本をしようかします（よんでネット） ■ おすすめ本のリストを子どもやうちのの人にわたします ■ 学校の先生や学校図書館ではたらく人に新しく出たおすすめ本を手にとるきかいを作ります
【取組課かい】図書館		
【自己評価】 ●ボランティアの協力のもと、よんでネットを定期的に発行し、おすすめした本には背表紙にシールを付けることで、利用者が選びやすいように工夫をしている。 ●テーマに合わせた展示を随時行い、おすすめ本を手にとってもらいやすいようにした。また、展示やイベントなど読書に関わる情報をXやLINE等のSNSを活用し、情報発信に努めた。とくにLINEは情報を必要としている人に直接届くため、効果が高い。 ●ボランティアの協力のもと、専門誌の書評を参考にしながら、おすすめ本の展示を行った。学校司書研修で選書のポイントを伝えることと合わせ、学校図書館の運営に関わる方や子ども読書活動推進事業に関わる方から好評で、選書の参考になっているとの声をいただいている。 ●家庭内での読書活動を通じて、子どもに読書の魅力を知ってもらいと同時に、家庭内でのコミュニケーションを深めてもらうことを目的とする「家読」活動を推進するため、啓発チラシを作成し、各学校に案内をした。		
【課題】 ●ボランティアの担い手不足。		
【次期計画期間で取り組むこと】 ●ボランティアの確保・育成について一層の支援を行う。 ●子どもの視点からの「家読」の魅力を発信することにより、「家読」が誰でも自由に楽しみながらできることを伝え、読書活動のさらなる推進を目指す。		

20	学校といっしょにとりくもう	■ 中学生や先生に市立図書館の仕事を知ってもらいます（職業体験・社会体験研修） ■ 調べ学習や図書館見学に来てもらいます ■ じゅぎょうで作ったおすすめ本のかんばん（ポップ）を本といっしょにかざります ■ 市立図書館のしょくいんが、本や読書のことを教えます
【取組課かい】図書館		
【自己評価】 ●学校のニーズに応じて職業体験、図書館見学、中学校へのブックトーク派遣、教員を対象とした社会体験研修等を実施。		
【課題】 ●学校によって読書への関心に偏りがある。		
【次期計画期間で取り組むこと】 ●あらゆる機会をとらえて読書のよろこびを伝えるとともに、学校のニーズや困りごとに寄り添った支援が行えるよう関係性を強化していく。		

21	ボランティアをそだてようふやそう	■ 読み聞かせのことを学ぶ会をひらきます ■ おはなしのことを学ぶ会をひらきます（ストーリーテリング） ■ わらべうたのことを学ぶ会をひらきます ■ 学んだ人がボランティアをしやすいしくみを作ります ■ ボランティアといっしょにおはなし会をひらきます
【取組課かい】図書館		
【自己評価】 ●段階的に学べるよう、時間をかけた連続講座を実施し、座学と実践を組み合わせることで理解を深めている。また、講座修了後も学びが途切れないよう、受講生には図書館利用団体への登録を促し、継続的な活動を支援している。さらに、地域のボランティア団体を紹介し、活動の場との橋渡しを行うことで、学んだ成果を実践へとつなげている。こうした支援を通じて、講座修了後に読み聞かせボランティアとして地域で活躍している受講生もいる。		
【課題】 ●ボランティアの高齢化。		
【次期計画期間で取り組むこと】 ●世代交代も視野に入れながら、引き続き、ボランティアの育成支援に取り組む。		

22	いろいろなしせつや人々といっしょにとりくもう	■ イベントに使う本をかします ■ 使わなくなった本をすてないで、ほしい人にわたします（リサイクル） ■ みんなに知ってほしいことを本といっしょにでんじます ■ 本や読書のイベントをいろいろな人と いっしょにひらきます ■ 市立図書館のしょくいんが、本や読書のことを教えます
【取組課かい】図書館		
【自己評価】		
●あらゆる機会を通じて本との出会いを増やすため、イベント時への貸出やリサイクルの依頼に積極的に対応したほか、青少年会館フェスティバルや、書店・ハマミナでのビブリオバトル等、多機関と連携して図書館以外の会場でもイベントを実施した。 ●とくに、テーマを持って本を勧めるブックトークは読書意欲を高める効果が大きいため、中学校ブックトーク講師派遣はより多くの回数が実施できるよう務めた。		
【課題】		
●事業にかかる職員の人工の確保や、 <u>ブックトークができる講師の確保</u> 。		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●事業目的を改めて確認しながら業務内容を精査することで、業務の効率化を図り、新たな人的リソースを創出する。		

23	よい本ほんをたくさんおこう・いろいろな場所	■ 図書コーナーをつくります ■ 図書コーナーの 場所に来る子どもに合わせた本をおきます ■ 子どもが本を手にとりやすいくふうをします ■ 子どもと おうちの人が本を楽しめるくふうをします ■ 本のいれかえをします
【取組課かい】こども政策課・教育センター・社会教育課・青少年課		
【自己評価】		
●子育て支援センターに訪れる子どもが、本に親しむきっかけを持てる環境づくりを行うことができた。また、保護者向けの育児に関する書籍も用意し、子育てへの悩みに対するヒントを得る機会を提供することもできた。絵本や書籍は適宜入れ替えを行い、利用者の興味を引けるよう工夫した。（こども政策課） ●令和7年度に、子どもの目線に合わせた配置で、複数種類の漫画を追加した。（青少年会館） ●くるくる文庫はさまざまな人が本を寄贈してくれるシステムのため、あらゆるジャンルが集まった。本を親しむ場所になっているとともに、新しい分野の扉を開くきっかけになっている。また、漫画のコーナーは子どもが落ち着いて読書する雰囲気を体験してもらえる場所になっている。（体験学習センター） ●ロビーに、年齢層を限定しない図書コーナーを、子ども室に、主に未就学児向けの図書コーナー（カルガモ文庫）を設け、本に触れ合う機会を作った。（鶴嶺公民館） ●地域の方々より本を寄付していただき、平常時より「ブックリサイクルコーナー」を設け、本に触れ合う機会を作った。（松林公民館） ●通常の図書館の分類方法とは異なり、博物館の展示内容に合わせて本を分類・配架することで、利用者が展示に関連する本を探しやすくなり、興味を広げるきっかけを作ることができた。（博物館）		
【課題】		
●絵本や書籍の入れ替えにあたり、本を際限なく購入することは難しい。現状は、図書館から貸出をするなどして対応している。（こども政策課） ●図書コーナーの場所には限りがあり、<u>蔵書内容や配置を工夫</u>する必要がある。（青少年会館） ●くるくる文庫は誰でも自由に借りたり、持ち帰ることが可能な取り組みのため、開架する冊数が少なくなってしまう期間ができてしまった。（体験学習センター） ●特になし（鶴嶺公民館） ●特になし（たくさんの方々に利用されており、大変好評である。（松林公民館） ●利用者の興味と本の配置が合わない本を探しにくくなる可能性があるため、<u>本の置き方を工夫</u>したい。（博物館）		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●引き続き、こどもや保護者が様々な本に親しむ環境を作る。（こども政策課） ●本の入れ替えがある場合は、引き続き、併設の図書室の蔵書との重複を避ける。（青少年会館） ●「いらない本」ではなく、「読んでほしい本」を寄付してもらえるように呼びかけ、開架する冊数が少ない期間がないよう、現状の取り組みを多くの方に知ってもらうことを主な取組みとする。（体験学習センター） ●引き続きロビーと子ども室に、図書コーナーを設ける。（鶴嶺公民館） ●引き続き「ブックリサイクルコーナー」を継続する。（松林公民館） ●博物館の展示物に関連する茅ヶ崎市の郷土資料や自然科学の本をそろえ、本の貸出、返却、予約資料の受取のサービスを行う。（博物館）		

24	ボランティアとおはなし会をひらこう	ボランティアといっしょに おはなし会を ひらきます ボランティアといっしょに 本や 読書の イベントを ひらきます
【取組課かい】こども政策課・教育センター・社会教育課・青少年課		
【自己評価】		
●ボランティアの方との取組ではなく、子育て支援センターのスタッフが対応した。(こども政策課) ●登録団体を講師に招き「子どもの広場」を開催した。季節にちなんだ絵本の読み聞かせなどを行い、読書に親しむ機会を作った。(小和田公民館) ●ボランティアの協力により、講座「子育てホットスペース」を行い、絵本の読み聞かせを実施した。公民館で必要な情報が収集できる機会を作るとともに、子育て中の方々の交流の場とすることができた。(松林公民館) ●ボランティアグループ「湘南・絵本とおはなしの会(南湖組)」の協力により、絵本の読み聞かせや、わらべ唄、手遊び、紙芝居などの機会を作ることができた。(南湖公民館) ●小さい子向き(2歳～未就園児)と大きい子向き(園児～小学生)を対象とした夏のおはなし会を開催し、絵本や昔ながらの遊びに親しむ機会を作った。(香川公民館) ●妊娠中の方や乳幼児を連れた方を対象としたイベントに読書に関するプログラムを取り入れ、参加者が読書に親しむ機会を作った。(博物館)		
【課題】		
●現状は、施設スタッフの方で対応できている。(こども政策課) ●特になし(小和田公民館) ●特になし(子育て中の親たちの交流の場となっており、大変好評である。)(松林公民館) ●参加者数が増やすことが難しい。(南湖公民館) ●集中して静かに聞く時間に飽きてしまう子どももいる。(香川公民館) ●イベント終了後の本の貸出数には多い回と少ない回があるため、今後は、より多くの方に本を借りてもらえるよう、取り組みを充実させていきたいと考えている。(博物館)		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●引き続きスタッフを中心に対応する。(こども政策課) ●引き続き「子どもの広場」で小和田公民館の登録団体を講師に招き、小学生前の子どもを対象に読み聞かせ会を開催する。(小和田公民館) ●引き続き「絵本の読み聞かせ」を継続する。(松林公民館) ●イベントの中での開催を増やし、参加者数を増やしたい。(南湖公民館) ●お話しの合間に子どもが楽しみながら集中できるプログラムとする。(香川公民館) ●妊娠中の方や乳幼児を連れた方を対象としたイベントのプログラムの一つとして、図書館ボランティアによる「わらべうたの会」を実施する。(博物館)		

25	おうちの人や子どもたちが本を読みたくなるようなイベントをひらこう	■ 子どもや おうちの人が 本や 読みたくなるような イベントを ひらきます ■ おうちの人が 子どもの本や 読書の ことを 学ぶ イベントをひらきます ■ 子どもが 本を 読むことの 大切さを みんなに 知らせます
【取組課かい】こども政策課・教育センター・社会教育課・青少年課		
【自己評価】		
●0～2歳のこどもが利用者の中心であることを考慮して、短時間での開催を数多く行うなど工夫した。(こども政策課)		
●令和7年度の青少年会館フェスタでは、梅田中学校図書委員のPOP展、子どもリサイクル本コーナーを設置し、また図書室おはなし会を実施した。(青少年会館)		
●特になし(松林公民館)		
●「なんご昆虫ミュージアム」の一角で、昆虫にまつわる書籍を展示・貸し出しし、家に帰ってからも、興味や学びの向上に役立てることができた。(南湖公民館)		
●イベントやワークショップの開催時に学芸員と連携し、内容に関連する本を会場に置くことで、参加者に本を紹介する機会を作った。(博物館)		
【課題】		
●対象が低年齢ということもあり、本への親しみ具合を図ることは難しい。(こども政策課)		
●特になし(青少年会館)		
●令和7年度は開催なし(松林公民館)		
●昆虫関連の図書の貸出しは少なかつたものの、昆虫への興味関心の深化は図られた。(南湖公民館)		
●イベントに合った本の紹介が十分でない場合、利用者に不便をかける可能性があるため、学芸員と図書館司書が連携し、本の選定をしていきたいと考えている。(博物館)		
【次期計画期間で取り組むこと】		
●引き続き、イベントを通じてこどもが本に親しむ機会を提供する。(こども政策課)		
●青少年会館フェスタでは、引き続き、主な対象である小学生から30歳までの青少年のほかに未就学児も含めて、読書に関連するブースを実施する。(青少年会館)		
●令和8年度は開催なし(松林公民館)		
●さらなる興味関心の深化、そして学習意欲の向上を図る。(南湖公民館)		
●図書館の司書が、展示やイベントに関連する本を紹介したり、博物館の学芸員と連携して展示に合わせた本の紹介を行ったりする。(博物館)		